

スリーハート

第2号 平成25年 5月 15日(水) 発行

『交流活動』を中心に据えた教育活動を展開していくべく、新たな船出をした甚西丸。子どもたちは、人とのかかわりの中から、多くのことを学び、“人”として大きく成長していきます。核家族化・少子化が進む現在、人とのかかわりが希薄になってきているため、“人”として学ぶ機会も少なくなってきました。そこで、本校では、教育活動における『交流活動』の重要性に再び着目し、今年度は、さらに子どもたちの視野を広げるべく、国際交流という新たな活動の場を用意しました。

国際交流という新たな活動を加えた『甚西丸』の交流活動ですが、その基盤となるのが、最も身近な同級生や上級生、下級生との交流です。4月末から5月にかけて、多くの異学年交流活動を通して、子どもたちのつながりを深め、今後の様々な交流活動の土台作りを進めました。今号では、こうした活動を通して、多くのことを学んでくれた子どもたちの様子をご紹介します。

1年生 おめでとう集会



— 6年生とともに1年生入場 —



— 輪になって歌おう！ —
手をつないで全校合唱

4月25日

児童会企画の「1年生 おめでとう集会」は、上級生が心を込めて飾り付けをした体育館で、自己紹介をしながらジャンケンをし、列を増やしていく「ジャンケン列車」を楽しんだり、みんなで歌を歌ったりと、楽しい企画が盛りだくさんでした。2年生からは、昨年育てた朝顔からとれた種がプレゼントされ、5年生からは、かわいいペンダントが贈られ、1年生は本当にうれしそうでした。また、1年生の笑顔を、うれしそうに見守る上級生の優しいまなざしがとても素敵でした。

— ジャンケン列車で互いに自己紹介 —

4月30日

この日は、2年生が、1年生の手をひいて、「学校探検」を行いました。2年生の子たちは、この日のために、事前学習をして、1年生に説明ができるように準備をしていました。自信にあふれた表情で、1年生の子たちを気遣いながら案内する2年生の子たちの姿を見て、「さすが、お兄さんお姉さん」と頼もしく感じました。

— 事前に校内を巡る2年生 —

〔2年生の日記より〕

＊ さいしよは、きんちょうして一年生の子もわたしも、ぜんぜんしゃべれなかったけど、だんだんしゃべれるようになってきました。すごかったのしかったです。

＊ ほけんしつをせつめいしてあげました。しっかりきいてくれてうれしかったです。

学校探検



— 1年生を気遣いながら —

わくわくタイム

ー縦割り班で認め合い高め合うー



ー目標を確認するリーダーー

ーうなずきながら話を聞く下級生ー



ー下級生を膝に乗せてー



ー笑顔がはじけるふれあいゲームー

5月 2日

この日は、リーダー・サブリーダーが中心となって準備を進めてきた初めての縦割り班活動「わくわくタイム」が行われました。

班活動の目標を確認をしたり、自己紹介を兼ねたゲームを楽しんだりして、ふれあいを深めました。

下級生の目線に立つてものごとを考え、常に、皆のことを気遣いながら活動をリードする上級生の姿がとても輝いていました。



ー下級生の目線に立ってー

ゲームの後は、みなでお弁当を囲んで、楽しいひととき（にこにこランチ）を過ごしました。わくわくタイムは、初めこそ、表情が硬い子もいましたが、徐々に打ち解け合い、お弁当の時間には、どの教室も、笑顔があふれていました。

みんなの笑顔を自分の喜びと感じ、リーダー・サブリーダーは、この日までの苦労が吹き飛んだようでした。



ーどの班も笑顔があふれー

ー互いに理解を深め合うー

にこにこランチ

ーわくわく班で楽しいひとときー



ーいつもより先生との会話も弾むー

【子どもたちのふり返りより】

＊ 準備がとて大変でした。でも、みんなの笑顔が見れて本当にうれしかったです。

＊ おにいさん、おねえさんといっしょにおべんとうをたべて、たのしかったです。